

フツと、ヤクザの足を洗って見たが……



金子正次
永島咲子
北 公次
佐藤金造
小川亜佐美
泉 アキ
菊地健二
も も
銀 粉 蝶
土方鉄人
壇 隆太
岩尾正隆
大塚五郎
高橋 明

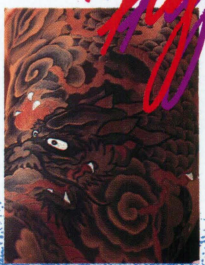
金子正次を見ろ!

「竜二」は永遠である。

どっちつかずの半端者シ、そう言われてもオレには悪くはない

NEW PRINT版

竜二



川島透 第一回監督作品
Ryuji
FOREVER

制作:PRODUCTION RYUJI
配給:「竜二」全国上映委員会

企画・大石忠敬 / 脚本・鈴木明夫 / 演出・川島透 / 監督・川島透 / 主演・金子正次・永島咲子 / 美術・小池直実 / 製作協力・関屋健司 / 主題曲「ララバイ」由「藤原健」提供(藤原健「ララバイ」作品)
スチール・浅木洋助 / 録音・三船プロダクション / 音楽・三船プロダクション

金子正次を知れ!

60-70年代に鈴木清順、深作欣二が世界に知らしめた日本の「ヤクザ」を、金子正次の「竜二」はくつがえた。金子は、アイデンティティーとしてのヤクザに揺らぐ「ニュー・ヤクザ」を描き、根源的な暴力を導きだす。それは、北野武、崔洋一ら、すばらしい現在の日本映画の復興を予感させるものであった。(ロベルト・ノヴェッリ:伊・映画評論家)

SHOJI KANEKO in Ryuji

YAKUZA FOREVER

金子正次を見る!

「おい、起きろ、起きるんだ」(松田優作)

「待ってろよ、男になるからよ」(金子正次)



「竜二」は永遠である。

80年代、管理社会にしっかりと組み込まれてしまったヤクザ社会で、新宿・歌舞伎町界隈を、肩で風を切るアニキ。そんな竜二は、なぜかふとヤクザ稼業に虚しさを覚え、足を洗って酒屋につとめ、かわいい女房、娘と、平和でつつましい市民生活を始めるが…。欺瞞だらけの平穩に鬱屈し、苛立ち、ふたたびヤクザの世界に舞いもどっていく。

スクリーンいっぱい眩いほどの光芒を放つ、金子正次の圧倒的な存在感。インディーズ映画ながら、「竜二」は1980年代を代表する伝説の名画として人々に熱く、切々と語り継がれてきた。その「竜二」が長くの封印を解かれ、ニュープリントで再びスクリーンに蘇る。

金子正次に泣け!

たった1本の映画と5本の脚本を残し、“映画史上に残る天才”(故・松田優作)と言われたひとりの男が、1983年11月6日未明、永遠の眠りについた。金子正次、享年33歳。「待ってろよ、男になるからよ」と言い続け、金子は逝った。癌に蝕まれながらも、自ら主演俳優として、シナリオライターとして、映画「竜二」の製作に渾身の力を注ぎ、公開直後に大ヒットを見届けるかのように旅立っていった。



1983年/PRODUCTION RYUJI/35mm/ビスタ/カラー/モラル/1時間32分/製作:大石忠敏(川島透)/監督:川島透/脚本:鈴木明夫(金子正次)/原作:金子正次/撮影:川越道彦
出演:金子正次/永島暎子/北公次/佐藤(現・桜)金造/主題歌:萩原健一「ララバイ」/挿入歌:山口百恵「プレイバックPart II」/RYUJI製作委員会/配給:「竜二」全国上映委員会

「竜二 映画に賭けた33歳の生涯」生江有二著/「金子正次遺作シナリオ集」(ともに幻冬舎アウトロー文庫)

5/8(土)~21(金) ロードショー!! ニュープリント版

連日 1:00 2:55 4:50 6:45

当日/一般1800円、大学1500円、高校1300円、
中・小・シニア1000円

特別鑑賞券1500円好評発売中!!

★シネ・ヌーヴォー梅田/九条 劇場窓口でお買い求めの方、先着で伝説の「竜二」特製ポストカードプレゼント!

ホワイトテイルめだ・泉の広場6番出口北へすぐ

シネ・ヌーヴォー梅田

TEL.06(6365)0094

